

平成26年度第3回「青森競輪経営企画委員会」 ― 会議概要

日時：平成27年3月25日（水）10：00～

場所：青森市役所 第2庁舎「2階・庁議室」

出席者

福士 隆三委員長、加川 幸男副委員長、道川 浩治委員、佐藤 直義委員、
中村 浩委員、今 隆範委員

[以上6名]

(敬称略)

事務局

財務部長	仁藤 司史	競輪事業所主査	坂本 亮
財務部理事	館田 一弥	競輪事業所主事	工藤 剛
競輪事業所長	内山 儀彦	競輪事業所主事	須々田 和大
競輪事業所副所長	小山 和紀		[以上8名]
競輪事業所主査	渡邊 和則		

次第

1. 開会
2. 案件
 - (1) 平成27年度（上期）青森競輪開催日程について
 - (2) 青森競輪場本場施設の耐震診断の結果について
 - (3) 新場外車券売場の設置検討について
3. 閉会

資料

- 【資料2】平成27年度（上期）青森競輪開催日程表
- 【資料3】青森競輪場本場施設の耐震診断結果について
- 【資料4】新場外車券売場の設置検討について
- 【資料5】「新場外車券売場設置検討」に向けた想定スケジュール（案）
- 【資料6】北側スタンド棟、ドリームスタンド棟等の耐震化について

新委員の紹介

3月20日付けで委員に就任された青森商工会議所常務理事兼事務局長 道川浩治委員の紹介。

案 件

～事務局より資料に沿って説明、その後の質疑応答及び主な意見は以下のとおり～

1. 案件（1）「平成27年度（上期）青森競輪開催日程について」資料2にて説明。

- ・内容：グレード別の日程及びレース概要等について説明。

<質疑応答>

○委員 ガールズケイリンの開催を予定しているが、集客力と収益に与える影響はどうか。

●事務局 集客力、収益ともに特別に大きい訳ではない。

2. 案件（2）「青森競輪場本場施設の耐震診断の結果について」資料3にて説明。

- ・内容：耐震診断結果の詳細について説明。

<質疑応答>

○なし

3. 案件（3）「新場外車券売場の設置検討について」資料4、資料5、資料6にて説明。

- ・内容：資料4において今後の新場外車券売場の設置検討について方向性を示した。

新場外車券売場設置検討については、税負担がない計画を前提としていることから、耐震診断の判定結果が出た後に、別途検討を行うと判断し、昨年度同委員会にて了承された経緯を説明。

耐震診断の判定結果を踏まえ、平成27年度において一部耐震化の必要があるメインスタンド棟の改修工事（概算工事費 約6千万～7千万円）を実施するほか、法改正により新たに耐震診断の努力義務が定められた北側スタンド、ドリームスタンド等についても、今後、耐震診断の実施を検討する。

また、メインスタンド棟の耐震化改修工事が、今後の青森競輪事業に影響を及ぼす程度のものではないことが判明したことから、一時中断していた新場外車券売場の設置検討は、今後、新たに実施する北側スタンド、ドリームスタンド等の耐震診断結果を踏まえた上で再開する旨の想定スケジュール案を示した。

<質疑応答>

○委員 なぜ新たな耐震診断が終了してからの再開なのか、すぐにでも始めればいいのかではないのか。

●事務局 新場外車券売場設置検討については、税負担がない計画が前提であるので、耐震診断の結果が判明し、改修の必要性の有無が明らかにならないうちは進められない。

○委員 青森競輪の経営のためにも、新場外車券売場の話はなるべく早く、強力に進めていくことを要望する。

<フリートーキングでの主な意見>

○委員 地元ファンサービスのためにも、G I レースに招致を進めてほしい。

●事務局 毎年G I レースの誘致には手を挙げており、今後も引き続き行う予定である。

(文責 競輪事業所)